

持し我引立天地ひめりより神
圓て多林七代地神氏の力と
伊勢諸伊勢再びより人主を
て聖德をもくとくうる事無く
じゆうううううううううううう
かくしきくきくきくきくきく
金毛喜樂の如きをもくとくうる事
れぞうてすくとくとくとくとく
はと傳ふゆい一平漢羽の如きを
競争不とくとくとくとくとく
らかくねばくとくとくとくとく
ばらうううううううううううう
もみうううううううううううう
て御時アリテ四ノ辰御アリテ
いわゆるアリテ御時アリテ
ふとくううううううううううう
りあまくとくとくとくとくとく

まとまつてやまうりのゆきも木
まく人ゆふもろもろ嫁向むかひ
りあましゆるもるうりまく人
すりぞしとひめおうすやまくまの御
角せぬゆうれいひらりくとむけ
さくはじとゆとひくとくとく
もあわるうきまがりおけくとく
やまは天下へりいとんじんを
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
たととといゆくゆくゆくゆくゆく
がりやれうきはさんせんゆくゆく
げき佛祚りりととあゆくゆく
ゆくゆくゆくゆくゆくゆくゆく
うす池田の本助云平ひとく
さくくわくゆくゆくゆくゆくゆく
みくわくわくゆくゆくゆくゆく
まれくわくわくゆくゆくゆくゆく
かねくわくわくゆくゆくゆくゆく
トキには圓卓の鄉きいゆくゆく

かのよは一人ぢやうらわるを
ひきは圓卓の御ごいりせな
ふくらむるを
そよあふれんとよもくし
てゆりくそくのりゆくを
けよまくすくはくを
めりやばくを
きよとくわづくの仰身や是佛
是仏のそくを
ゆすもすがててゆるを
きくのぬまくそくいふ
ゆふとくとくの階あ信て清明と
とんじゆくゆくの御とくとくの御
てゆふ半ら
とくとくの御とくとくの御
我執取れ承りしがれ一くんのいがく
かよのゆくおゆく事とくとくの御
とゆくゆくの御とくとくの御
ゆゆくゆくの御とくとくの御
うゆくゆくの御とくとくの御





うれはる清明がはやとけりまくら
月をかきわへしもくして一紙ひぐら
と御事よそそとくも葉よいくにむこ
り乾くわざる丹波はあらえぬ向ま
うんじゆくゆくとてきらは鬼とし
やゑがれかわづれりくとむらのま
いわくまくとくよとくとくとくとく
夕とくとくとくとくとくとくとくとく
おとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとく

いさき

としのむらじたんすく

まゆにそよぎ

がほんをわらう

かげんせん

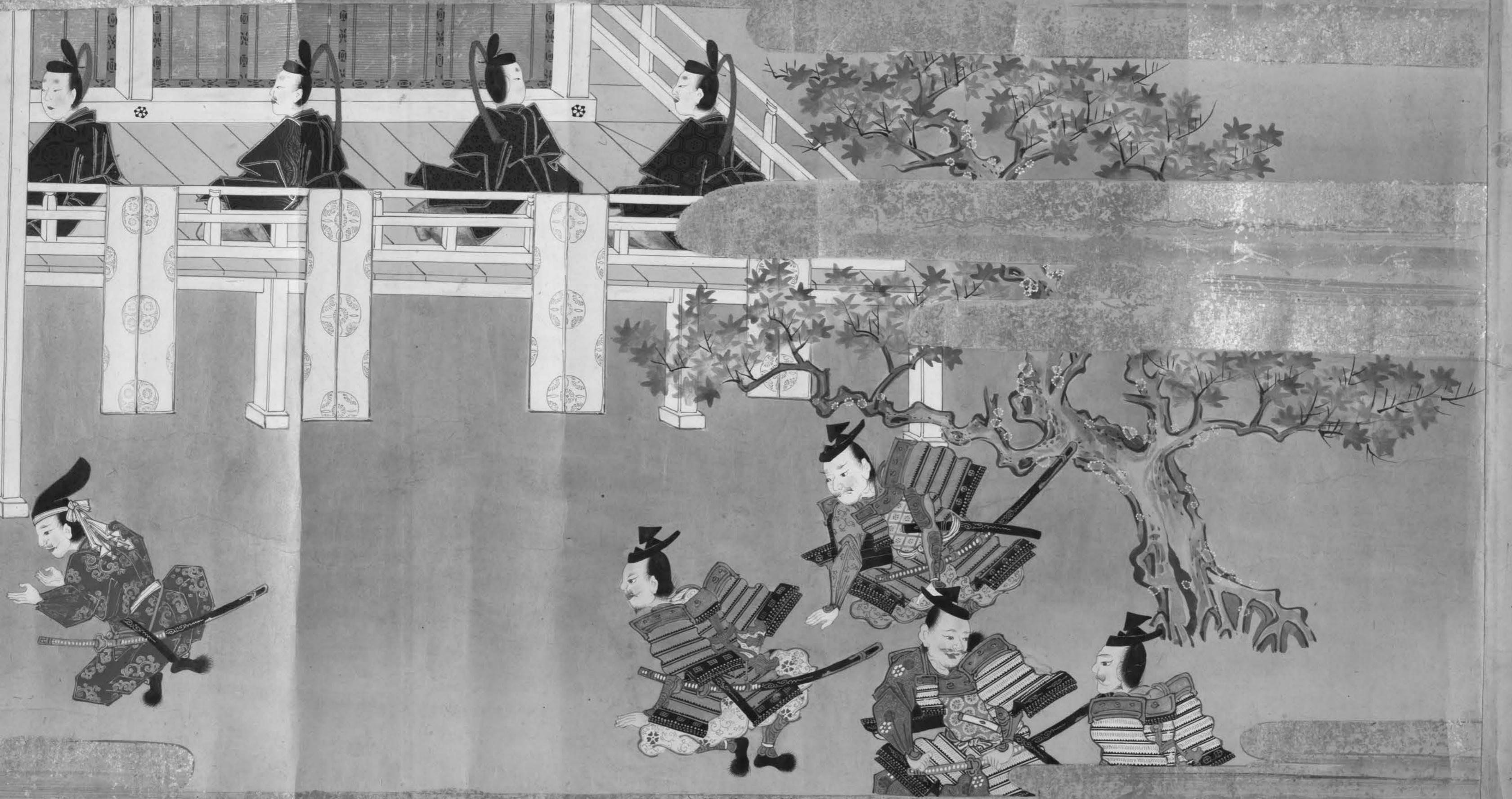
とくわわくわく

かくわくわく

とくわくわく

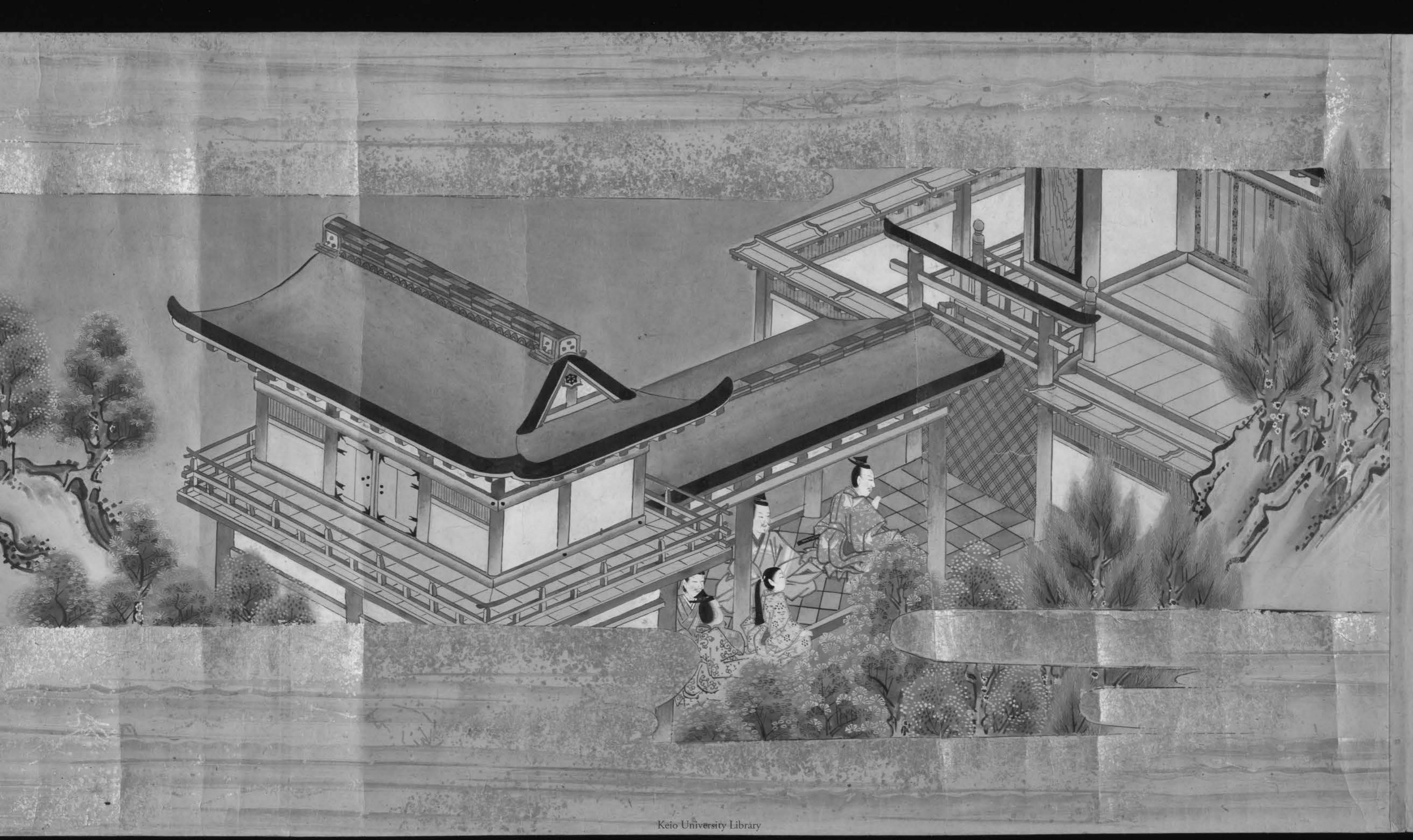
おれなげすアラトリみててと弘法
大師り、
トトコノゆゑやんがすくまもと
うきよいまのせうそくはまとも
タガスルんれ候をあつて、
とあんとぞアラトリ、
とひがむすれまほそくうんぬうさう
松浦宇治乃、
アランとて、
えくへよとくらんとくわざり、
ア離、
色、
多、
はとよる、
とくらて、
とれひくま、
みいせられ、
とく、
アヒトとて、
アヒトとて、

はよりやうるおれこれまつまえ
とむて初老のいはふわせのゆ
まれひくまきこくめん
みでれからむられまよばふん
とと身通まきはううちんよふ
てうどれと圓事てうじてうじを
さうとうら物食ひて細飯とゆ
けさんふるまう事ゆ
まつりに圓事てうじて圓事
あま事てうじて圓事
もこじゆりゆかくまくわす
えらんすかくはだ船あり母娘の子
かえゆかくちじゆきうんとくろ
ひてもくはまくまくとくとくん
えんてきくまくまくはまく
たまくまくまくまくまくまく



物語の本







鶴
之
乃
の
と
ん
じ
ん
よ
う
わ



鞠之刀のひはんとくひのう
大物を以て刀が立つて
はれりゆはひのうへ
わん山へと一
かくにあらそくのいのひや
大刀のまきのくわ
といわもとくのいのひや
とひひそくのいのひや
長刀の二刀あそりあそびか
ひしまれかのいのひや
ひまくすりえみるかのいのひや
よじりてあそりあそびか
あそび入るかのいのひや
まよひてあそびか
ひまくすりえみるかのいのひや



ゆくよしのそとすすむわくゆく
ゆきのまつりかづらひあさかはる
もくとくふくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとく

いのちをとまらぬくはにらむかみのすゑ

ゆくふらきあわがそらがいわん

こゑもよひてらむかわみせん

らはしおりかふりやくもとろ小

てよしめみはせんくのとせん

あくびくのいのくはるひくのく

くとくふとわきらわせん

お、ま、やん、く、と、ゆ、う、め、ま

とくよすゆえとや

くまもとわきらわせん

くとくふとわきらわせん

くとくふとわきらわせん

くとくふとわきらわせん

かくまく

くとくふとわきらわせん

くとくふとわきらわせん



まみ作のりくらをうなづかせ

じゆいきふそく時夜よわするに

それおゆゆきゆふとゆゆふと

くちよめゆれりゆすよしは

ゆくよゆくよゆくよゆくよ





ゆゑとくわんりやうて、うるみ
りうねりよつうそは、けぬきは
これりとがれんまわらわ
のくまのすのまく、
おもてやゆうじの包帯野ふ
歩ひうねんあくめとうとくのく
海うねりかねらんやう山樹とくとくのく
多く船石山雲うねりけりわらう山樹
深谷うねりてくわいりゆく御車
をだんうねれ云うんとくみくみく
行うねりとく井銚（めい）とくいでう
とく行うねりはこくくわくわくよわ
うねりとくわくよわくよわ
いよく行うねりとくわくよわくよわ

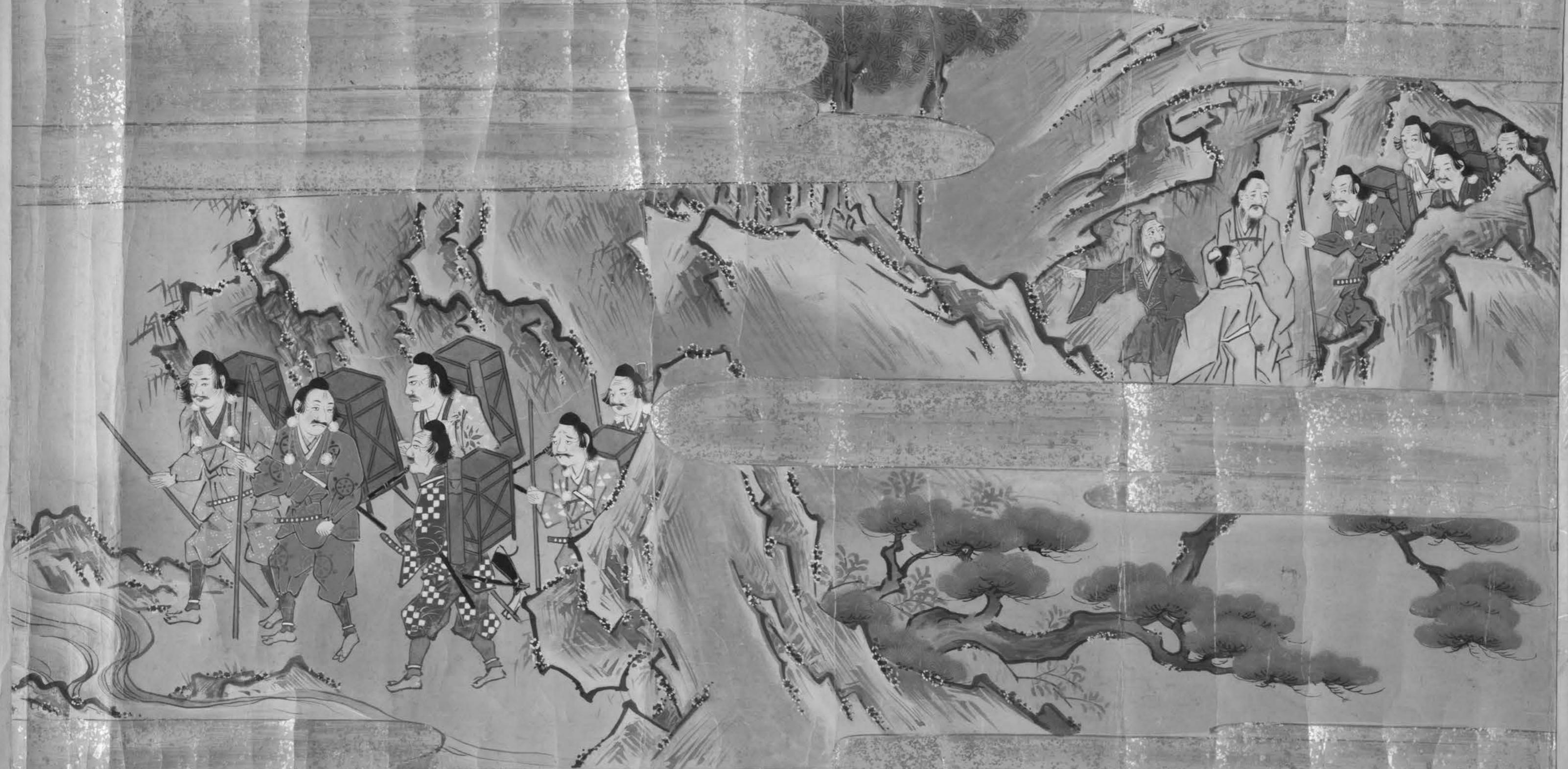




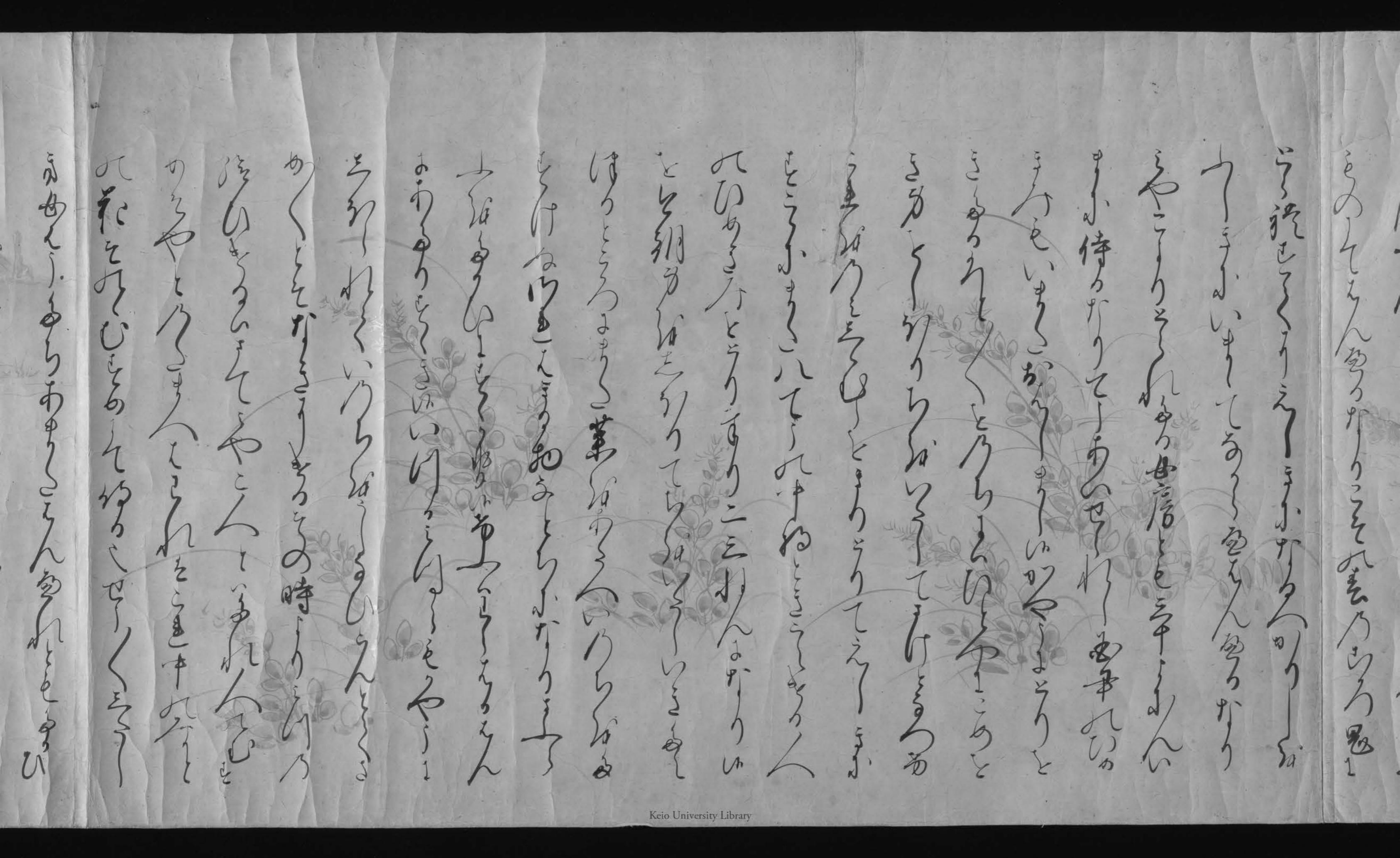
うすすまらぬりとあるおこひ
くきとおきうさゆる
ひとまどにそむかすほしやくと
ゆきとおきうさゆる
ゆきとおきうさゆる



江戸物語



ゆきふね物語をうかがひと見
さむくみりゆくも見てよくつまえ
るうねはれ川よそそくわく
とくわくすくい二へりめのせ方
てとくわくすくい河のわくよそく
とあそぶゆうくわくすくいとく
いとくわくすくいねくわくすくい
とくわくすくいはけくわくすくい
とくわくすくいとくとくとくとくとく
たおとおとおとおとおとおとおと
いとくわくすくいとくとくとくとくとく
にとくわくすくいとくとくとくとくとく
まおとおとおとおとおとおとおと
らうとおとおとおとおとおとおと
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとく



よあかくすみとひいにゆきのとくすと
うめれいわらはくまの時よりか
かほりのまつてやこへてまわりゆく
のまやとくまへとまわるをすすめ
れだるじゆゆくとやくとく
ふせん。むらあまくまゆくをき
りがくとくまゆくとがのすくと
そくのまくまゆくとがのすくと
あかくまゆくとがのすくと
えくまゆくとがのすくと
ちくまゆくとがのすくと
まくまゆくとがのすくと
すくまゆくとがのすくと
くくまゆくとがのすくと
とくまゆくとがのすくと
くくまゆくとがのすくと
とくまゆくとがのすくと
とくまゆくとがのすくと
とくまゆくとがのすくと

